

北海道では気温の変化が激しく、まだ夜になると暖房をかけたくなる日々です。

話は変わりまして、今年も『札幌ラーメンショー2018』が札幌・大通り公園にて開催されました。この催しは2009年東京から始まり、2013年福岡、そして2015年から札幌での開催になり、4回目となります。昨年に引き続き、今年も熱いラーメン業界を楽しもうと行って来ましたので紹介します。

5月22日から2週間開催され、全国から10店舗を1週間で入れ替え、計20店舗が出店しました。入場料は無料で、各ラーメン店一杯800円で食べられます。昨年より人気継続中の海老系が人気ですが、今年は鶏白湯(とりばいたん)も人気が高いようです。私は個人的に海老系が好きなので、今年もかけつけ2杯を食しました。

山形・酒田のラーメン『花鳥風月』で魚介系醤油の『ふわっとろ海老ワンタンメン』、札幌と東京のコラボ『みその×けいすけ』で『濃厚伊勢海老味噌ラーメン』を一気に頂きました。大好きな海老三昧で満足しました。

会場ではどの店に人が並んでいるか一目でわかります。出店側は熱い戦いとなっていて、あちらこちらから威勢良くお客様を呼び込む声が賑やかでした。皆様にもこの活気を一度味わって頂きたいと思いました。

札幌営業所(所長:利川 光浩)

暑さが日ごとに増えていますがいかがお過ごしですか。

今回は青森県の城ヶ倉大橋に行ってきました。緩やかな湾曲した大橋で、全長360m・アーチ支間長225mとしては日本一の長さのようです。谷底からの高さは122mあり、本当に高さがあるので下をのぞきこむと少し足が竦んでしまう高さです。(高所恐怖症の人は、下の城ヶ倉溪谷を見ないで、遠くの山々を見ることをお勧めします)。

橋の上からは絶景が見え、遠くに岩木山の雄姿が美しく、八甲田連峰も素晴らしいです。下を見ると溪谷美にため息です。うっそうとした濃い緑と青空のコントラストは絵になります。秋の紅葉シーズンになると、紅葉狩りの観光客がひっきりなしに訪れる人気のスポット。機会があれば紅葉シーズンに訪れてみたいものです。

仙台営業所(所長:山田 義一)

KOYORAD

世界の拠点から  
-From the base in the world-

Vol.196  
Jun.2018  
KOYORAD

皆様いかがお過ごしでしょうか。今回は名古屋駅から程近いところにある、桂芳院の『愚痴聞き地蔵』を紹介いたします。名古屋駅の桜通り口から、北東へ5~10分ほど歩いたところに桂芳院という曹洞宗の小さな寺院があります。寺院の周辺は、オフィスビル、マンション、民家がありますが、名古屋駅近くとは思えないほど静かです。

その小さな寺院の門をぐり左手に行くと、塀際に変わった形のお地蔵さんが鎮座しています。これが愚痴聞き地蔵という愛称のお地蔵さんで、耳に右手をあてて「なに?」という感じで聞き耳を立てているようなユニークな姿をしています。

お地蔵さんの前に腰掛が置いてあり、そこに腰掛けると丁度お地蔵さんの顔が正面になり、お地蔵さんの顔を見ながら愚痴を聞いてもらうことができます。人に愚痴を話すと、愚痴を言った方は一時的にスッキリしますが、聞いた側は愚痴の共犯者になってしまうかもしれません。お地蔵さんなら愚痴を全部黙って聞いてくれる上に、話が漏れることもありませんよね。。。

私が愚痴聞き地蔵にどんな愚痴を話したかは内緒ですが、皆さんもお地蔵さんに愚痴を話しに行かれてはいかがでしょうか。

名古屋営業所(所長:高橋 鉄夫)

『東京の幸福ご飯』で「TKG!」ではなく、『たまごかけご飯』で「TKG」の美味しい店に行ってきました。東京都文京区千石にある『喜三郎農場』さんですが、東京でたまごかけご飯と検索すると必ず出てきます。早速、都内のTKGとは如何なものかと、胃袋を出来るだけ空腹な状態にし、期待に胸を膨らませてようやくたどり着きました。店構えは気取っている風ではなく、どちらかといえば??な感じでしたが、中に入ると予約席で一杯になるほどの人気ぶり(ネットで星が多いのもあってか!)

とりわけ広いわけではなく、入っても30人くらいかなという店内。その日は予約していたので予約席へ通され、早速ビールから入り、お店自慢の色々な鳥料理をいただき、締めにはたまごかけご飯と親子丼をととても美味しくいただきました。ちなみに、各地の新鮮な卵を店内販売していて、それを買って帰る方が多いそうです。鳥料理が多い福岡出身の私からすると驚きでしたが、決して安いものではありませんでした。といっても喜三郎農場さんとはとてもお勧めのお店です。

東京営業所(所長:木下 敦裕)

枯山水の日本庭園といえば京都のイメージですよね。しかし、アメリカの庭園専門誌が日本の庭園ランキング、15年連続で1位としたのは島根県にある足立美術館です。日本庭園は別格で人気が高いと知り、早速見に行ってきました。

大阪から島根まで遠いイメージがありますが、足立美術館のある安来市は鳥取県から島根に入っすぐの所で、想像よりは近かったです。海外からのインバウンドに人気とは聞いていましたが、行った時期がゴールデンウィークだったこともあり、行った時はほとんど日本人観光客でした。

館内で一部展示物を見た後、枯山水庭園を見学。庭だけでなく後ろの山々まで自然美が堪能できます。屋内から外を見学できるスペースでは、まるで皆で大型液晶スクリーンを眺めているかの様な錯覚に陥ります。館内には額縁の様な窓がいくつもあり、そこから外を眺めると風景は1枚の絵の様に見えます。和室の脇に縦長の窓がありそこはまるで掛け軸。名前も『生の掛け軸』と付けられています。庭は5ヶ所あり、それぞれテーマがあり見応えがありました。四季折々表情が違うので次は違う季節に来てみたいと思いました。新館にある現代絵画も見ごたえありましたよ。お勧めです。

大阪営業所(所長:藤谷 弘行)





ジメジメした日が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか?梅雨という名の通り、この時期に梅を食べると食中毒予防や疲労回復など身体にいいことずくめです。食べ過ぎには注意ですが、一日一つの梅干しはいいかもしれませんね。さて、今回は私の大好物である『博多とんこつラーメン』の薬味『ピリ辛もやし』。こちらが作れる、美味しいソースをご紹介しますと思います。その名の通り『ホットもやしソース』です。

作り方は至って簡単!もやしを数十秒ほど茹でて水切りし、この市販の

ソースを絡めるだけ!ごま油の香りが効いていて、口に運ぶと辛さと旨味が広がります。ご飯のおかずにはもちろん、ラーメンにのせたり、お酒のおつまみにしたりしても最高です。また、きゅうりにかけてキムチ風に、野菜炒めのタレ、餃子や焼き肉などのつけダレとしても使え、たくさんのアレンジ料理ができます。最近ではスーパーなどの量販店でよく見かけるようになりました。またインターネットでもソースの作り方が色々検索できますので、よろしければ一度ご賞味ください。オススメです。

福岡営業所・沖縄配送センター(所長:江頭 慎司)

5月から1ヶ月間、イスラム教の信者たちは断食をします。自分も欠かさず断食をしました。

通常の食生活と違い、断食中は朝から日没まで食べられません。夜になると食べられます。断食中の生活は何も不自由なく、普通に仕事をしています。ただ、少しお腹が減ったり、喉が渇いたりするぐらいです。

断食後、自分の体重は約3kg減りましたが、数週間で体重は元に戻ります。また、断食中はイスラム教の聖書、約600ページを一ヶ月の間で読みます。一日約20ページのペースです。聖書を読むのが上手な人は、2、3周読み終わることもあります。自分も頑張って読みましたが、1周しかできませんでした。

さらに不思議なことに、イスラム教の聖書、約600ページすべての内容を覚えている人がいます。イスラム教の聖書ができた当初から、聖書を覚えられの人が必ずいます。インドネシアだけでも約40万人の人が覚えています(インドネシア人口:約2億6千万人)。そのおかげで、イスラム教の聖書の中身を誰かが少し変えてもすぐにわかります。

KJI(インドネシア)(工場長:S.Akhyar)

だいぶ暖かくなってきている様ですが、皆様お元気でしょうか?!スポーツといえばアメリカには4大スポーツというのがあります。まずはご存知、野球(MLB)です。今年は大谷選手のペイブルース以来の二刀流の活躍でさらに話題になっていますね。所属するエンジェルスはすぐ近くにいますので、一度は応援に行きたいと思っています。

次はアメリカンフットボール(NFL)です。最近、日本のニュースで悪質反則行為が取り沙汰されていますが、これがアメリカで起きていたら多分一発でアウト(当然試合中に)ですね!やはり選手たちは命をかけてプレーしているので…ケガは命取りになります。ちなみに選手の平均選手寿命は5

～ファーストクラスもあります～

ノーズの伸びた流線形のシャープなルックス。青いラインの入った車体よく似た雰囲気です。今や中国の長距離移動は新幹線が大変便利になりました。2007年ごろから高速鉄道網の開発が本格化し、その後またたく間に中国全域に広がり、今では世界最長の鉄道輸送網を誇ります。

蘇州から北京へ出張する場合、以前なら夜行列車(寝台車)に乗り、翌朝早朝に到着というも今では懐かしく感じられます。蘇州から北京の移動であれば約1,000kmの距離をわずか4時間半で到着です。金額は8,000円程度です。切符はパソコンや携帯電話で簡単に予約ができ、当日は駅窓口または自動機で受け取ればOKです。

中国の場合、空港同様に荷物のX線検査、本人確認検査を通り駅構内へ入場する点は日本と異なります。時間がかかり、やや面倒ではありますが、安全管理の面では安心です。食堂車や車内の飲食類の販売も備えています。三等車、二等車、一等車と座席のランクがあり、一等車は飛行機のファーストクラス同様にスペースもたっぷりです。飲み物のサービスもあり、フカフカシートで完全にフラットにできる構造です。機会があれば中国列車の旅を試みようと思います。

KHE(中国・蘇州)(総経理:山本 博史)

年以下だそうです。

あとの2つはアイスホッケー(NHL)とバスケットボール(NBA)です。今この2つの種目はプレーオフを行っています。ファイナルは土日を除けば基本的にプライムタイムで放送されるので視聴率も高く、翌日は社内でも話題になります。

さて、もうすぐサッカーのワールドカップですね!残念ながらアメリカは予選敗退でしたが、私自身は好きなので応援しようと思います。今回はロシアでの開催のため、日本代表の試合はこちらの朝方になります。その期間は寝不足になりそうです。

KCS(アメリカ)(COO:板垣 仁志)

電気自動車が導入されたことで、未来のために都市はより先進的で、将来に備えていると言えます。そして、シンガポールの大学でも大学構内で自動運転車のテストをし始めています。それは都市が必要としている訳ではありませんが、威信をかけたものです。

2017年12月から『BlueSG』という会社が、80台の車両と30台の充電スタンドで電気自動車シェアリングに乗り出しました。カーシェアリングにかかるコストは、タクシーにかかるコストとあまり変わらないことを除いても、制限された充電スタンドに車を戻す手間は別問題です。また、ときどき空調が適切に機能しないことがあります。総合的にみてもこのカーシェアリングは、まだ大ヒットというわけではありません。

にも関わらず、最大1000台の車両と500台の充電スタンドを追加する計画は、おそらくより多くのユーザーを引き付けるでしょう。しかし、それは数年以上かかりそうです。シンガポールへのマーケティングツールとして、この『BlueSG』の立ち上げは、新しいアイデアを都市に促進するために良いかもしれません。シンガポールは未来都市をイメージするために新しい挑戦をしようとしています。

KIO(シンガポール)(E.Wong)

ユニボはオランダで非常に有名なスーパーマーケットチェーンです。また、F1チーム『レッドブルレーシング』のドライバーである『マックス・フェルスタッペン』のスポンサーでもあります。昨年5月、ユニボはザントフォールト・サーキットで『ユニボ・レーシング・デイズ』と呼ばれる2日間のイベントを開催しました。ニュースでは、ザントフォールトでのオランダGPについてまだ議論しているということです。

以前のように、このサーキットにF1に戻すという大望があります。フェルスタッペンが参加するユニボ・レーシング・デイズは、サーキットでの壮大なイベントであり、多くの人々を引き付けます。また、人気ドライバーに会えるためたくさんの方が訪れます。

今年のプログラムは、フェルスタッペンによるレッドブルレーシングのF1カーでの、高速走行デモが行われ、本当に素晴らしかったです。また、ダニエル・リカルドとデビッド・クルサードもF1カーで活躍していました。FIAワールドツーリングカーカップ(WTCR)、ポルシェGT3カップチャレンジベネルクスなど、他のレースもいくつかありました。レッドブル・キャラバン・レースは非常に面白く特別なものでした。これは多くの来場者により成功しましたが、今後より一層の発展を目論んでいます。本当に素晴らしいことですね。

KIO(オランダ)(Jan van Mier)